

別紙 2

1 埼玉県防犯のまちづくり推進計画の一部を次のように変更する。

(傍線の部分は改正部分)

改 正 案	現 行
<p>埼玉県防犯のまちづくり推進計画</p> <p>第1～第4 (略)</p> <p>第5 防犯のまちづくりに関する施策展開の方向</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 長期目標</p> <p>本県では、平成17年度からの第1期計画以降、第4期までの計画に基づき、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。</p> <p>その結果、人口千人当たりの刑法犯認知件数は、平成16年の25.7件から、令和5年には6.8件に減少しました。</p> <p>本計画では、令和11年における人口千人当たりの刑法犯認知件数を埼玉県5か年計画の目標値を踏まえ <u>6.8件とする</u>ことを長期目標とします。</p> <p>第6 (略)</p>	<p>埼玉県防犯のまちづくり推進計画</p> <p>第1～第4 (略)</p> <p>第5 防犯のまちづくりに関する施策展開の方向</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 長期目標</p> <p>本県では、平成17年度からの第1期計画以降、第4期までの計画に基づき、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。</p> <p>その結果、人口千人当たりの刑法犯認知件数は、平成16年の25.7件から、令和5年には6.8件に減少しました。</p> <p>本計画では、令和11年における人口千人当たりの刑法犯認知件数を埼玉県5か年計画の目標値(5.5件(令和8年))を<u>上回る5.4件まで減少させる</u>ことを長期目標とします。</p> <p>第6 (略)</p>

2 埼玉県農林水産業振興基本計画の一部を次のように変更する。

(傍線の部分は、改正部分)

改 正 案	現 行
<p>埼玉県農林水産業振興基本計画 第1～第4 (略) 第5 取組の展開方向 (指標) <u>1 経営体当たりの農産物生産額</u> 現状値 11,563,000円(令和5年度) 目標値 <u>17,876,000円</u>(令和12年度) <u>年間販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合</u> 現状値 15.3%(令和6年度) 目標値 <u>18.5%</u>(令和12年度) 1 (略) 2 ニーズに応じた農林水産物の供給と高付加価値化の推進 消費者や実需者のニーズに応じた良質かつ安全な農林水産物の供給を実現するため、県産農産物の高付加価値化、生産性の向上を推進し、生産、流通、販売等の体制を整備します。あわせて、安全管理を通じて消費者の信頼確保を図ります。また、県産農産物を購入する場の拡大等を通じて、地産地消を促進します。 (指標) 需要に応じた野菜の作付拡大面積 1,000ha(令和8～12年度) 契約野菜対応型野菜産地育成数</p>	<p>埼玉県農林水産業振興基本計画 第1～第4 (略) 第5 取組の展開方向 (指標) <u>販売農業経営体における平均販売金額</u> 現状値 11,563,000円(令和5年度) 目標値 <u>15,108,000円</u>(令和12年度) <u>販売農業経営体における年間販売金額1,000万円以上の農業経営体数割合</u> 現状値 15.3%(令和6年度) 目標値 <u>20.2%</u>(令和12年度) 1 (略) 2 ニーズに応じた農林水産物の供給と高付加価値化の推進 消費者や実需者のニーズに応じた良質かつ安全な農林水産物の供給を実現するため、県産農産物の高付加価値化、生産性の向上を推進し、生産、流通、販売等の体制を整備します。あわせて、安全管理を通じて消費者の信頼確保を図ります。また、県産農産物を購入する場の拡大等を通じて、地産地消を促進します。 (指標) 需要に応じた野菜の作付拡大面積 1,000ha(令和8～12年度) 契約野菜対応型野菜産地育成数</p>

改正案	現行
<p>30産地（令和8～12年度） 新たに農業の6次産業化により開発された商品数 250品目（令和8～12年度） 森林の整備面積 <u>7,000ha</u>（令和8～12年度） 施業のため集約化・団地化する森林面積 現状値 24,401ha（令和6年度） 目標値 29,000ha（令和12年度） 県産木材の供給量 現状値 87,000m³/年間（令和6年度） 目標値 <u>96,000m³</u>/年間（令和12年度） 県産農産物コーナー新規設置店舗数 125店舗（令和8～12年度） 県産木材を利用した公共施設数 現状値 1,356施設（令和6年度） 目標値 1,720施設（令和12年度） (1)～(3) (略) 3～9 (略) 第6 (略)</p>	<p>30産地（令和8～12年度） 新たに農業の6次産業化により開発された商品数 250品目（令和8～12年度） 森林の整備面積 <u>12,500ha</u>（令和8～12年度） 施業のため集約化・団地化する森林面積 現状値 24,401ha（令和6年度） 目標値 29,000ha（令和12年度） 県産木材の供給量 現状値 87,000m³/年間（令和6年度） 目標値 <u>137,000m³</u>/年間（令和12年度） 県産農産物コーナー新規設置店舗数 125店舗（令和8～12年度） 県産木材を利用した公共施設数 現状値 1,356施設（令和6年度） 目標値 1,720施設（令和12年度） (1)～(3) (略) 3～9 (略) 第6 (略)</p>

3 第4期埼玉県教育振興基本計画の一部を次のとおり変更する。

(傍線の部分は、変更部分)

変 更 案	現 行
<p>第4期埼玉県教育振興基本計画</p> <p>第1章 (略)</p> <p>第2章 施策の展開</p> <p>1 目標Ⅰ 確かな学力の育成</p> <p>(1) 施策1 一人一人の学力を伸ばす教育の推進</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 施策指標</p> <p>学力・学習状況調査における学力状況</p> <p>(ア)「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」における<u>教科ごとの結果が全国平均以上にある教科数</u></p> <p>現状値(令和7年度) <u>小学校 1教科 中学校 2教科</u></p> <p>目標値(令和10年度) <u>小学校 2教科 中学校 2教科</u></p> <p>【指標の定義・選定理由】</p> <p>「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」において、<u>教科ごとの結果が全国平均以上にある教科数</u>(調査を毎年行う国語、算数・数学に限る。)</p> <p>全国と比較して、埼玉県の児童生徒が確かな学力を身に付けているかを示す数値であることから、この指標を選定。</p> <p>【目標値の根拠】</p> <p>「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」の毎年調査を行う小・中学校全</p>	<p>第4期埼玉県教育振興基本計画</p> <p>第1章 (略)</p> <p>第2章 施策の展開</p> <p>1 目標Ⅰ 確かな学力の育成</p> <p>(1) 施策1 一人一人の学力を伸ばす教育の推進</p> <p>ア～ウ (略)</p> <p>エ 施策指標</p> <p>学力・学習状況調査における学力状況</p> <p>(ア)「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」において<u>全国トップクラスにある教科数</u></p> <p>現状値(令和5年度) <u>小学校6年生 0教科 中学校3年生 0教科</u></p> <p>目標値(令和10年度) <u>小学校6年生 全教科 中学校3年生 全教科</u></p> <p>【指標の定義・選定理由】</p> <p>「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」において、<u>全国平均正答率(公立)を1ポイント以上上回った教科数</u>(調査を毎年行う国語、算数・数学に限る。)</p> <p>全国と比較して、埼玉県の児童生徒が確かな学力を身に付けているかを示す数値であることから、この指標を選定。</p> <p>【目標値の根拠】</p> <p>「<u>全国学力・学習状況調査*</u>」の毎年調査を行う小・中学校全</p>

ての教科（各2教科）において、全国平均以上になることを目指し、目標値を設定。

(イ) (略)

(2)～(5) (略)

2 (略)

3 目標Ⅲ 健やかな体の育成

(1) (略)

(2) 施策10 体力の向上と学校体育活動の推進

ア～ウ (略)

エ 施策指標

体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合

現状値（令和5年度） (略)

目標値（令和10年度） 小学校 77.1% 中学校 80.7% 全日制高等学校 86.1%

【指標の定義・選定理由】

(略)

【目標値の根拠】

近年の猛暑やこどもを取り巻く生活様式の変化等により、体を動かす時間が減少している中、生きる力の重要な要素である体力の向上を目指し、目標値を設定。

4 目標Ⅳ 自立する力の育成

(1) 施策11 キャリア教育・職業教育の推進

ての教科（各2教科）において、全国平均正答率を1ポイント以上上回ることで全国トップクラスになることを目指し、目標値を設定。

(イ) (略)

(2)～(5) (略)

2 (略)

3 目標Ⅲ 健やかな体の育成

(1) (略)

(2) 施策10 体力の向上と学校体育活動の推進

ア～ウ (略)

エ 施策指標

体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合

現状値（令和5年度） (略)

目標値（令和10年度） 小学校 86.0% 中学校 89.0% 全日制高等学校 90.2%

【指標の定義・選定理由】

(略)

【目標値の根拠】

埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値（小学校85.0%、中学校88.0%、全日制高等学校90.0%）から、小・中学校は2年間で更に1ポイント、全日制高等学校は2年間で更に0.2ポイント高めることを目指し、目標値を設定。

4 目標Ⅳ 自立する力の育成

(1) 施策11 キャリア教育・職業教育の推進

ア～ウ (略)

エ 施策指標

(ア)～(イ) (略)

(ウ)特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率(施策13にも記載)

現状値(令和4年度) (略)

目標値(令和10年度) 95.4%

【指標の定義・選定理由】

(略)

【目標値の根拠】

埼玉県5か年計画における令和13年度の目標値(98.4%)
を踏まえ、目標値を設定。

(2) (略)

5 目標V 多様なニーズに対応した教育の推進

(1) 施策13 障害のある子供への支援・指導の充実

ア～ウ (略)

エ 施策指標

特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率(施策11にも記載)

現状値(令和4年度) (略)

目標値(令和10年度) 95.4%

【指標の定義・選定理由】

(略)

ア～ウ (略)

エ 施策指標

(ア)～(イ) (略)

(ウ)特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率(施策13にも記載)

現状値(令和4年度) (略)

目標値(令和10年度) 91.9%

【指標の定義・選定理由】

(略)

【目標値の根拠】

埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値(91.1%)
から、2年間で更に0.8ポイント高めることを目指し、目標
値を設定。

(2) (略)

5 目標V 多様なニーズに対応した教育の推進

(1) 施策13 障害のある子供への支援・指導の充実

ア～ウ (略)

エ 施策指標

特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率(施策11にも記載)

現状値(令和4年度) (略)

目標値(令和10年度) 91.9%

【指標の定義・選定理由】

(略)

【目標値の根拠】

埼玉県5か年計画における令和13年度の目標値(98.4%)
を踏まえ、目標値を設定。

(2)～(3) (略)

6 (略)

7 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上

(1) (略)

(2) 施策23 地域と連携・協働した教育の推進

ア～ウ (略)

エ 施策指標

(ア)「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合

現状値(令和4年度) 47.6%

目標値(令和10年度) 84.5%

【指標の定義・選定理由】

県が行う「地域学校協働活動の推進に係る『学校応援団*』調査」において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。

学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子供を育てることが重要であり、「学校応援団*」の活動を通して地域で子供を育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。

【目標値の根拠】

【目標値の根拠】

埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値(91.1%)
から、2年間で更に0.8ポイント高めることを目指し、目標値を設定。

(2)～(3) (略)

6 (略)

7 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上

(1) (略)

(2) 施策23 地域と連携・協働した教育の推進

ア～ウ (略)

エ 施策指標

(ア)「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合

現状値(令和4年度) 47.6%

目標値(令和10年度) 58.0%

【指標の定義・選定理由】

県の「学校応援団*」の推進に係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。

学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子供を育てることが重要であり、「学校応援団*」の活動を通して地域で子供を育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。

【目標値の根拠】

過去5年間（令和3年度～令和7年度）の実績値及び平均伸び率（5.6%）を踏まえ、目標値を設定。

8～10（略）

第3章（略）

参考資料

用語の解説（略）

施策指標一覧

目標Ⅰ 確かな学力の育成

施策1 一人一人の学力を伸ばす教育の推進

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
学力・学習状況調査における学力状況					
・「全国学力・学習状況調査」における教科ごとの結果が全国平均以上にある教科数(※)	・「全国学力・学習状況調査」において、教科ごとの結果が全国平均以上にある教科数（調査を毎	・「全国学力・学習状況調査」の毎年調査を行う小・中学校全ての教科（各2教科）において、全国	小学校 1教科 中学校 2教科 (令和7年度)	小学校 2教科 中学校 2教科 (令和10年度)	58

埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値（54.0%）から、2年間で更に4ポイント高めることを目指し、目標値を設定。

8～10（略）

第3章（略）

参考資料

用語の解説（略）

施策指標一覧

目標Ⅰ 確かな学力の育成

施策1 一人一人の学力を伸ばす教育の推進

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
学力・学習状況調査における学力状況					
・「全国学力・学習状況調査」において全国トップクラスにある教科数(※)	・「全国学力・学習状況調査」において、全国平均正答率(公立)を1ポイント以上上回った教科数	・「全国学力・学習状況調査」の毎年調査を行う小・中学校全ての教科（各2教科）において、全国	小学校6年生 0教科 中学校3年生 0教科 (令和5年度)	小学校6年生 全教科 (令和10年度) 中学校3年生 全教科 (令和10年度)	58

	年行う国語、算数・数学に限る。) ・全国と比較して、埼玉県の児童生徒が確かな学力を身に付けているかを示す数値であることから、この指標を選定。	平均以上になることを目指し、目標値を設定。					(調査を毎年行う国語、算数・数学に限る。) ・全国と比較して、埼玉県の児童生徒が確かな学力を身に付けているかを示す数値であることから、この指標を選定。	平均正答率を1ポイント以上上回ることによって全国トップクラスになることを目指し、目標値を設定。			
(略)						(略)					
施策2～施策5 (略) 目標II (略) 目標III 健やかな体の育成 施策9 (略) 施策10 体力の向上と学校体育活動の推進						施策2～施策5 (略) 目標II (略) 目標III 健やかな体の育成 施策9 (略) 施策10 体力の向上と学校体育活動の推進					
指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁	指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
体力テストの5段階絶	(略)	近年の猛暑やこども	(略)	小学校 77.1%	91	体力テストの5段階絶	(略)	埼玉県5 か年計画に	(略)	小学校 86.0%	91

対評価で上位3段階の児童生徒の割合(※)		<u>を取り巻く生活様式の変化等により、体を動かす時間が減少している中、生きる力の重要な要素である体力の向上</u> を目指し、目標値を設定。		中学校 <u>80.7%</u> 全日制高等学校 <u>86.1%</u> (令和10年度)		対評価で上位3段階の児童生徒の割合(※)		<u>における令和8年度の目標値(小学校85.0%、中学校88.0%、全日制高等学校90.0%)から、小・中学校は2年間で更に1ポイント、全日制高等学校は2年間で更に0.2ポイント高める</u> ことを目指し、目標値を設定。		中学校 <u>89.0%</u> 全日制高等学校 <u>90.2%</u> (令和10年度)	
----------------------	--	---	--	--	--	----------------------	--	--	--	--	--

目標Ⅳ 自立する力の育成

施策11 キャリア教育・職業教育の推進

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
-----	------------	--------	-----	-----	---

目標Ⅳ 自立する力の育成

施策11 キャリア教育・職業教育の推進

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
-----	------------	--------	-----	-----	---

(略)						(略)					
(略)						(略)					
特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率 (施策13にも記載) (※)	(略)	埼玉県5か年計画における令和13年度の目標値(98.4%)を踏まえ、目標値を設定。	(略)	95.4% (令和10年度)	96	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率 (施策13にも記載) (※)	(略)	埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値(91.1%)から、2年間で更に0.8ポイント高めることを目指し、目標値を設定。	(略)	91.9% (令和10年度)	96
施策12 (略) 目標V 多様なニーズに対応した教育の推進 施策13 障害のある子供への支援・指導の充実						施策12 (略) 目標V 多様なニーズに対応した教育の推進 施策13 障害のある子供への支援・指導の充実					
指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁	指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率 (施策11)	(略)	埼玉県5か年計画における令和13年度の目標値(98.4%)を	(略)	95.4% (令和10年度)	103	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率 (施策11)	(略)	埼玉県5か年計画における令和8年度の目標値(91.1%)から、	(略)	91.9% (令和10年度)	103

にも記載) (※)		踏まえ、目 標値を設 定。				にも記載) (※)		<u>2年間で更 に0.8ポ イント高め ることを目 指し、目標 値を設定。</u>			
<p>施策14～施策15 (略)</p> <p>目標VI (略)</p> <p>目標VII 家庭・地域の教育力の向上</p> <p>施策22 (略)</p> <p>施策23 地域と連携・協働した教育の推進</p>						<p>施策14～施策15 (略)</p> <p>目標VI (略)</p> <p>目標VII 家庭・地域の教育力の向上</p> <p>施策22 (略)</p> <p>施策23 地域と連携・協働した教育の推進</p>					
指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁	指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値	目標値	頁
「地域で子 供を育てる 意識が向上 した」と回 答した小・ 中学校の割 合(※)	<u>県が行う</u> <u>「地域学校</u> <u>協働活動の</u> <u>推進に係る</u> <u>「学校応援</u> <u>団」調査に</u> <u>おいて「地</u> <u>域で子供を</u> <u>育てる意識</u> <u>が向上し</u> <u>た」と回答</u> <u>した小・中</u>	<u>過去5年</u> <u>間(令和3</u> <u>年度～令和</u> <u>7年度)の</u> <u>実績値及び</u> <u>平均伸び率</u> <u>(5.6%)</u> <u>を踏まえ、</u> <u>目標値を設</u> <u>定。</u>	(略)	84.5% (令和10年 度)	138	「地域で子 供を育てる 意識が向上 した」と回 答した小・ 中学校の割 合(※)	<u>県の「学</u> <u>校応援団」</u> <u>の推進に係</u> <u>る調査にお</u> <u>いて「地域</u> <u>で子供を育</u> <u>てる意識が</u> <u>向上した」</u> <u>と回答した</u> <u>小・中学校</u> <u>の割合。</u> <u>学校と地</u>	<u>埼玉県5</u> <u>か年計画に</u> <u>おける令和</u> <u>8年度の目</u> <u>標値(54.</u> <u>0%)から、</u> <u>2年間で更</u> <u>に4ポイン</u> <u>ト高めるこ</u> <u>とを目標</u> <u>し、目標値</u> <u>を設定。</u>	(略)	58.0% (令和10年 度)	138

<p>学校の割合。</p> <p>学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子供を育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子供を育てる意識を高めることが<u>家庭・地域の教育力の向上</u>に寄与することから、この指標を選定。</p>							<p>域の連携・協働を進め、社会全体で子供を育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子供を育てる意識を高めることが<u>地域と連携・協働した教育の推進</u>に寄与することから、この指標を選定。</p>				
(略)						(略)					
目標Ⅷ～目標Ⅹ (略)						目標Ⅷ～目標Ⅹ (略)					

4 埼玉県こども・若者計画の一部を次のように変更する。

(傍線の部分は改正部分)

改 正 案						現 行					
埼玉県こども・若者計画						埼玉県こども・若者計画					
目次 (略)						目次 (略)					
第1章 (略)						第1章 (略)					
第2章 施策の展開						第2章 施策の展開					
計画の体系 (略)						計画の体系 (略)					
埼玉県こども・若者計画における指標						埼玉県こども・若者計画における指標					
1～3 (略)						1～3 (略)					
4 「こどもの貧困」対策の推進、配慮を要するこどもへの支援						4 「こどもの貧困」対策の推進、配慮を要するこどもへの支援					
No.	指標名	現状値	目標値	指標の 説明・選定 理由	目標の 根拠	No.	指標名	現状値	目標値	指標の 説明・選定 理由	目標の 根拠
8～11 (略)						8～11 (略)					
12	特別支援 学校高等 部で一般 就労を希 望する生 徒の就職 率	85.4% (令和5 年度)	<u>96.4%(令 和11年 度)</u>	・県立特 別支援学 校高等部 の生徒の うち、一般 就労を希 望した生 徒が卒業 する時点	「埼玉県 5か年計 画」及び 「第4期 埼玉県教 育振興基 本計画」の 数値目標 の目標値	12	特別支援 学校高等 部で一般 就労を希 望する生 徒の就職 率	85.4% (令和5 年度)	<u>92.3%(令 和11年 度)</u>	・県立特 別支援学 校高等部 の生徒の うち、一般 就労を希 望した生 徒が卒業 する時点	「埼玉県 5か年計 画」及び 「第4期 埼玉県教 育振興基 本計画」の 数値目標 の目標値

				<p>で一般就労できた割合(内定を含む)。 ・特別支援学校における教育の充実の成果を示す数値であることから、この指標を選定。</p>	<p>をもとに、目標値を設定。</p>
--	--	--	--	--	---------------------

				<p>で一般就労できた割合(内定を含む)。 ・特別支援学校における教育の充実の成果を示す数値であることから、この指標を選定。</p>	<p>をもとに、目標値を設定。</p>
--	--	--	--	--	---------------------

5～8 (略)

9 「子育て」と「子育て」の支援

5～8 (略)

9 「子育て」と「子育て」の支援

No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
25～30 (略)					
31	「地域で子どもを育てる意識が向上した」と	55.7% (令和5年度)	<u>90.1%</u> (令和11年度)	・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で子供を育て	「埼玉県5か年計画」及び「第

No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
25～30 (略)					
31	「地域で子どもを育てる意識が向上した」と	55.7% (令和5年度)	<u>60.0%</u> (令和11年度)	・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で子供を育て	「埼玉県5か年計画」及び「第4期

	回答した小・中学校の割合			る意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子どもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子どもを育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。	4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。		回答した小・中学校の割合			る意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子どもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子どもを育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。	埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。
32 ~ 33 (略)						32 ~ 33 (略)					
10 (略)						10 (略)					
11 こども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援						11 こども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援					
No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠	No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠

36 (略)						36 (略)					
37	「地域でこどもを育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合【再掲】	55.7% (令和5年度)	<u>90.1%</u> (令和11年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体でこどもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域でこどもを育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。 	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をともに、目標値を設定。	37	「地域でこどもを育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合【再掲】	55.7% (令和5年度)	<u>60.0%</u> (令和11年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体でこどもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域でこどもを育てる意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。 	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をともに、目標値を設定。
12 (略)						12 (略)					

